

浜松市馬込川におけるプラスチック実態調査

調査目的 浜松市 馬込川河口付近におけるプラスチック浮遊状況ならびに篠原海岸浜砂中のマイクロプラスチックの実態を調査し、問題解決の基礎となるデータを得ると共に、関係者への適切な情報の周知や、市民啓発等に活用するため。

事業参加者 浜松市政向上委員会 鈴木恵議員、浜松市環境政策課、浜松の海を守る会
NPO 法人エコライフはままつ (株)ピリカ

調査費用 浜松市政向上委員会 鈴木恵議員 活動費
NPO 法人エコライフはままつ 費用負担なし

調査日程 2020年10月14日(水)

調査地点・時間 ※浜松市環境部による指定

- | | |
|------------------------------|----------|
| 1.新高橋(浜名用水と五反田川の合流直下:馬込川始点) | 午後12時50分 |
| 2.五枚橋(馬込川と染地川の合流直下:馬込川上島緑地脇) | 午後12時6分 |
| 3.茄子橋(馬込川と猪川の合流下:船越公園近傍) | 午前11時 |
| 4.白羽橋(馬込川河口) | 午前9時53分 |



調査方法(採取)

一般社団法人ピリカの持つ調査装置(アルバトロス7取水装置)を橋より吊り降ろし、網目0.3mmのプランクトンネットを調査地点の水中に3分間沈めます。

固形物が含まれる懸濁液を採取します。プランクトンネットを回収した。

(ろ水計を取り外し、メーターの数字を記録した。)

持ち帰ったプランクトンネット下の弁を開き、網にセットしたサンプルネットに採取した固形物を移し分析を依頼する。





- 1.新高橋(浜名用水と五反田川の合流直下:馬込川始点)・・・海水の臭いが強い。
- 2.五枚橋(馬込川と染地川の合流直下:馬込川上島緑地脇)・・・生臭い。
- 3.茄子橋(馬込川と猪川の合流下:船越公園近傍)・・・生臭い。
- 4.白羽橋(馬込川河口)・・・泥が多い。

分析方法

採取した液体または懸濁液を網目 0.3mm のプランクトンネットで濾過し、残った物質の中から自然物などを取り除き、プラスチック片らしき物質を採取する(比重分離実施後、過酸化水素水による酸処理を行なう)

取り出したプラスチック片らしき物質ならびに、既に砂から採取済みのプラスチック片を次の手法で調査し記録される。

(1) 顕微鏡でプラスチック片を撮影

(2) FT-IR などを用いて成分を特定する。(プラスチック片の成分, サイズ, 色, 形状など)

期間 およそ 1.5~2 か月